

県内経済動向調査結果（平成28年5月分）

平成28年7月15日
企業活性化・雇用緊急対策本部
（産業政策課）

■ 概況

県内経済は、個人消費は基調としては堅調に推移し、製造業は全体としては横ばいの動きとなっており、雇用は高水準で推移している。

■ 業種別の状況

製造業 ➡	医療機器など一部で好調に推移しているものの、新興国経済の影響等が引き続きみられ、全体としては横ばいの動きとなっている。
建設業 ➡	公共投資は3か月ぶりに前年同月を下回った。
小売業 ➡	5月前半の売上げ不振が一部であったものの、基調としては横ばいの動きとなっている。
サービス業 ➡	基調としては横ばいの動きとなっている。

【前月からの変化】



改善



不変



悪化

■ 製造業 … 医療機器など一部で好調に推移しているものの、
 (▲6.1→0.6) 新興国経済の影響等が引き続きみられ、全体としては横ばいの動きとなっている。

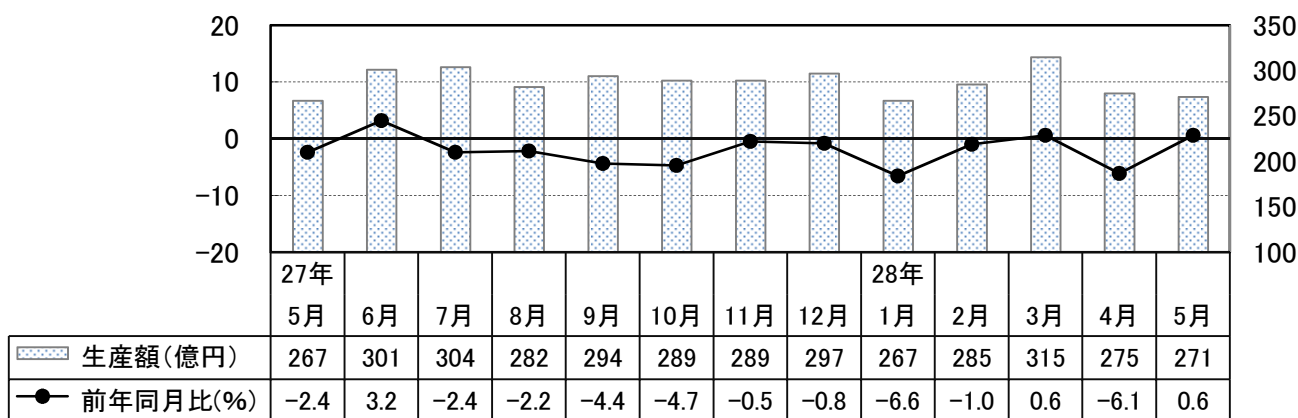
○ 電気機械 … 新興国経済の影響等が引き続きみられ、やや弱
 (▲7.8→▲3.4) 含みの動きが続いている。

○ 輸送機械 … 一部で好調な生産がみられ、前年同月を上回っ
 (▲3.4→2.2) ている。

○ 木材・木製品 … 一部で減産の動きが続き、前年同月を下回って
 (▲6.7→▲3.8) いる。

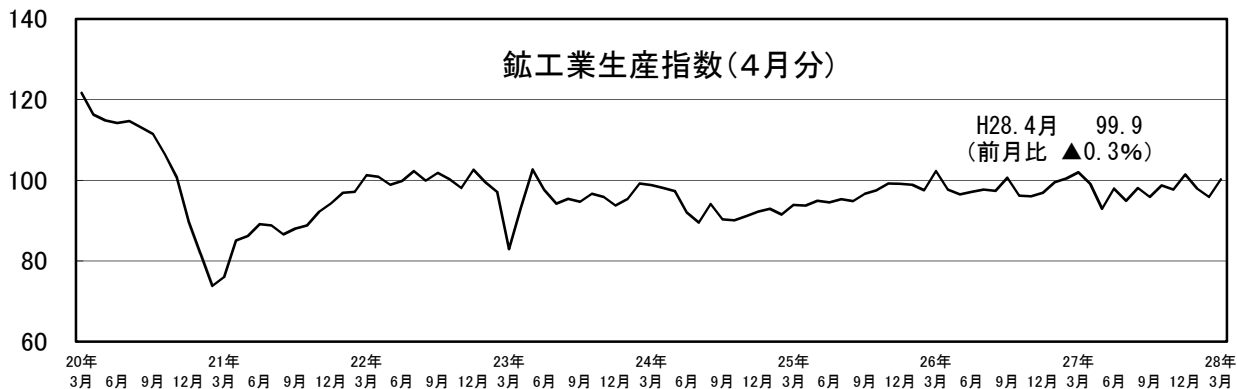
※ (前月・前年比 → 当月・前年比)

(折れ線-%) 製造業生産状況の推移 (縦棒-億円)



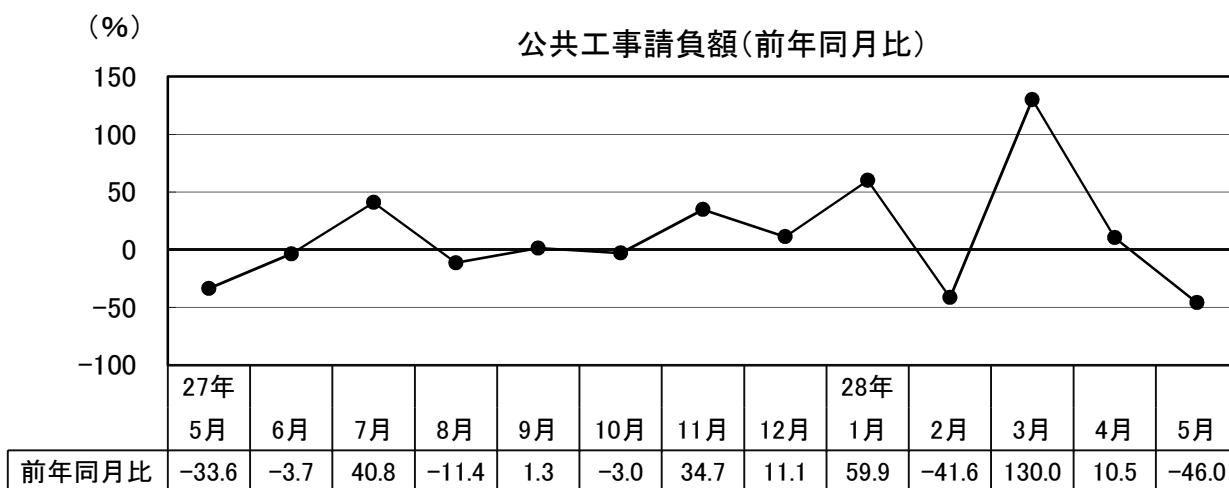
※28年4月に調査対象企業の一部が変更となったため、27年5月との生産額等の単純な比較はできない。ただし、28年5月の前年同月比は、変更後の調査対象企業の前年生産額との比較である。

季節調整済:平成22年=100



■ 建設業

公共投資は3か月ぶりに前年同月を下回った。



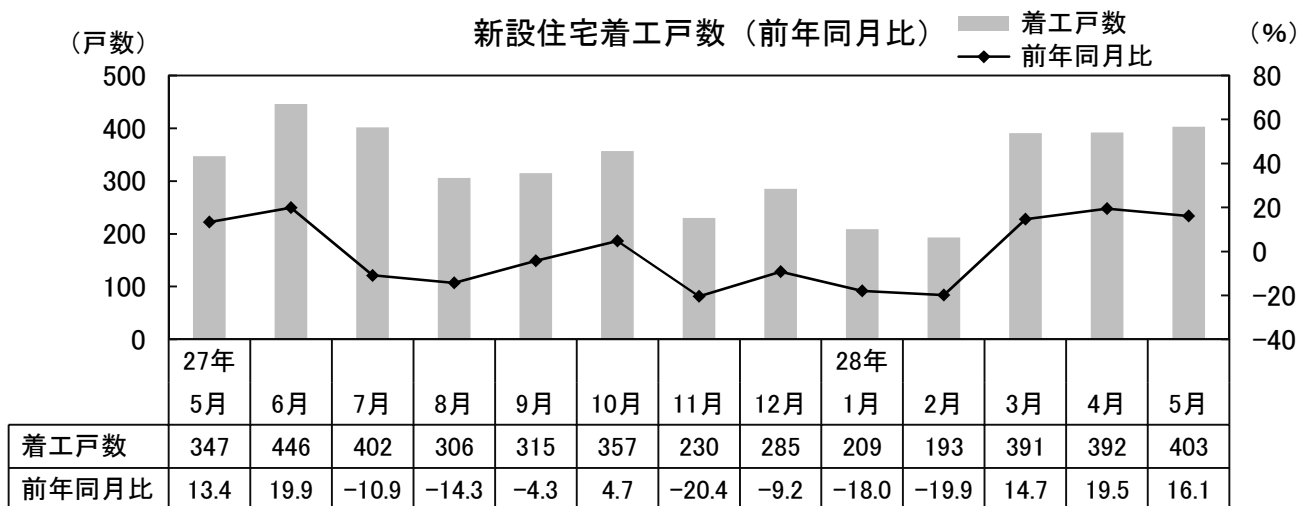
出所：東日本建設業保証株式会社秋田支店

■ 住宅着工（5月）

住宅着工戸数は全体で403戸（前年同月比16.1%増）となっている。

（参考）全国の動向

持家、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比9.8%増となった。

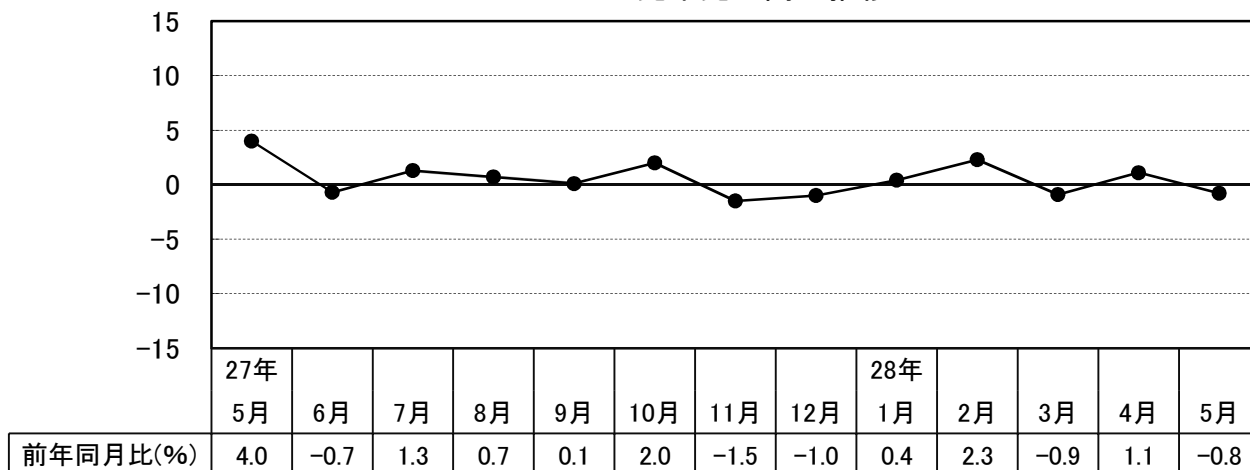


■ 小売業 … 5月前半の売上げ不振が一部であったものの、基調としては横ばいの動きとなっている。
(1.1→▲0.8)

○ 飲食料品 … 一部で5月前半の売上げが伸びなかったことなどから、前年同月を下回っている。
(1.2→▲0.6)

○ 家電品 … 全体としては、横ばいの動きとなっている。
(11.8→▲0.1)

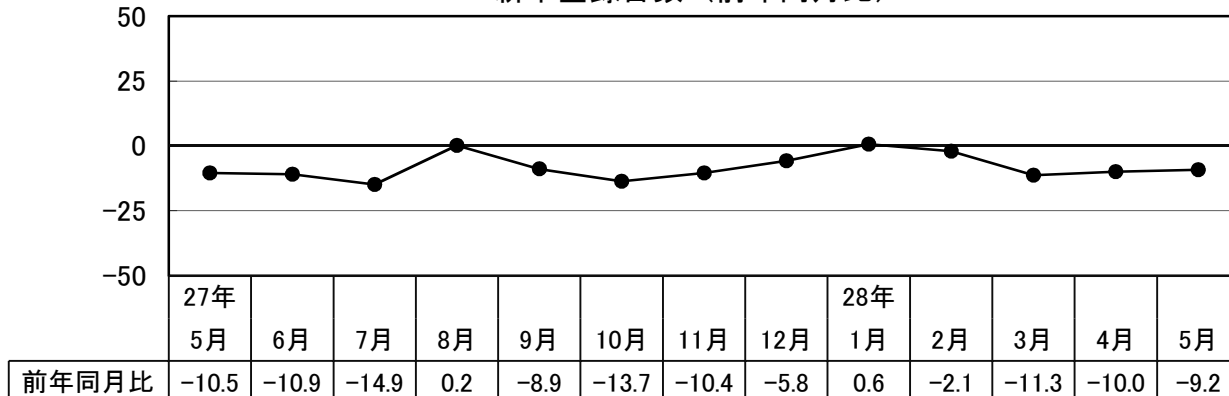
(%) 小売業売上高の推移



■ 新車登録台数（5月）

乗用車は増加したものの、軽自動車が増減したため、前年同月に比べ9.2%減となっている。

(%) 新車登録台数（前年同月比）



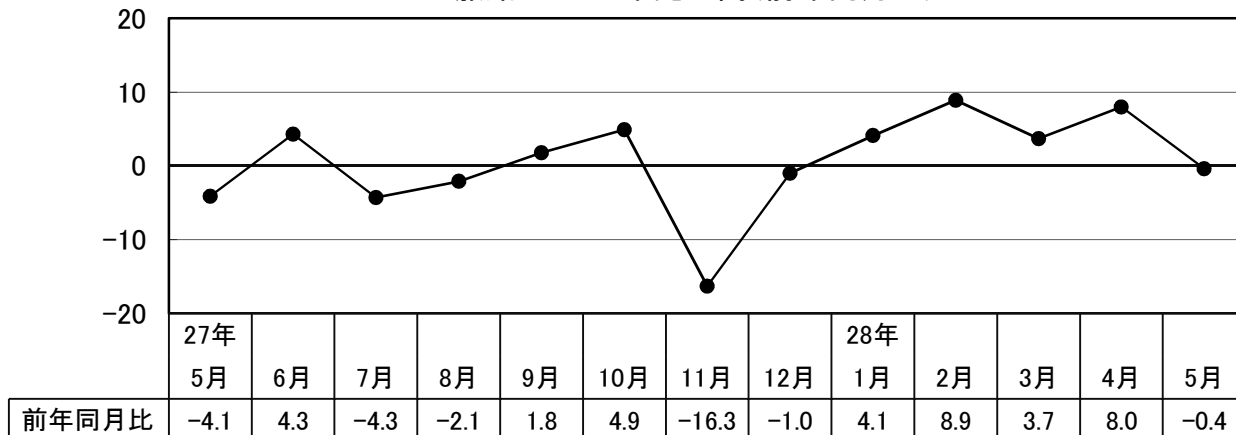
■ サービス業 … 基調としては横ばいの動きとなっている。

(0.5→▲2.7)

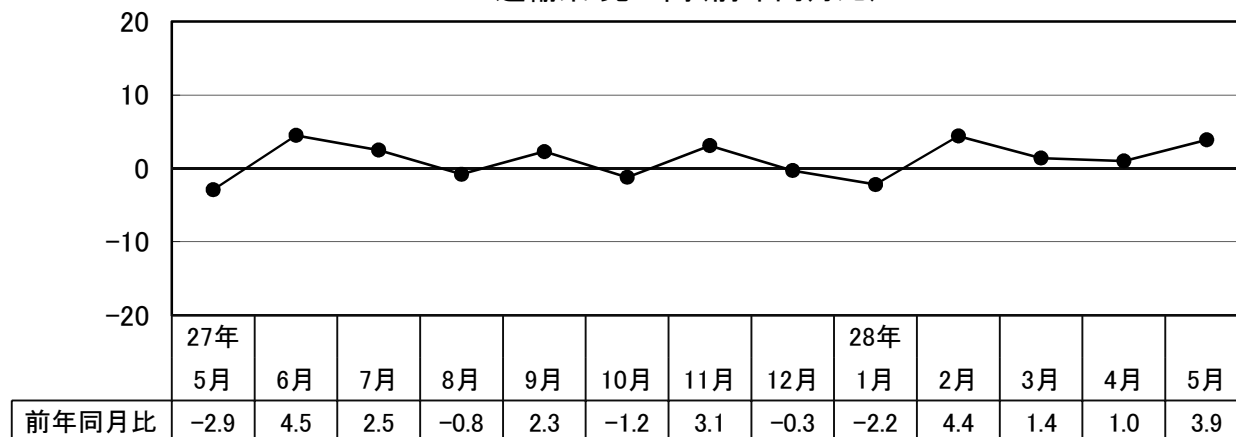
○ 旅館・ホテル … 一部で連休期間後の落ち込みはあったものの、全体としては、横ばいの動きとなっている。

○ 運輸 … 一部で建設資材等の運搬が好調だったことから、引き続き前年同月を上回っている。

(%) 旅館・ホテル業売上高(前年同月比)



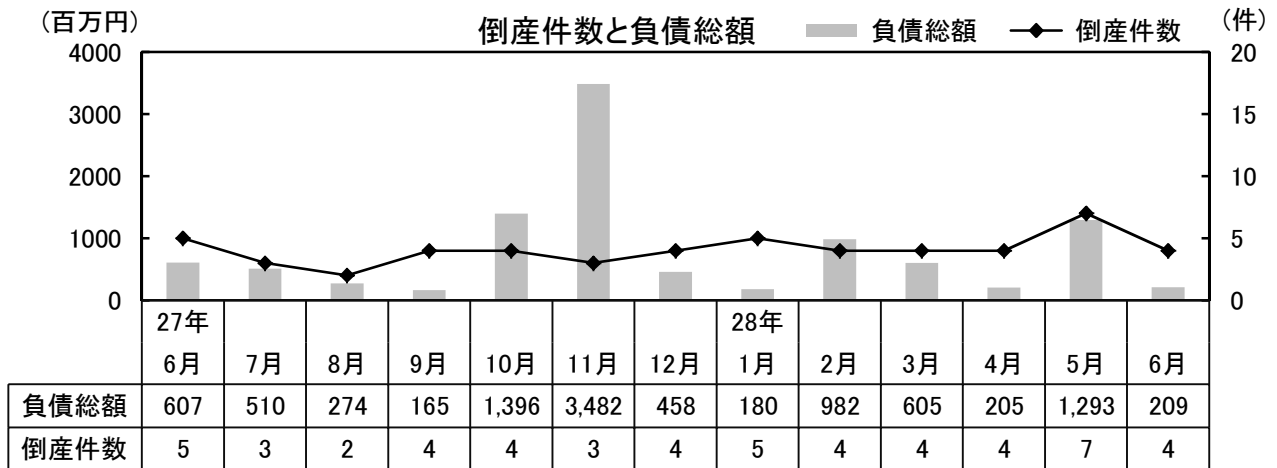
(%) 運輸業 売上高(前年同月比)



■ 企業倒産（6月）

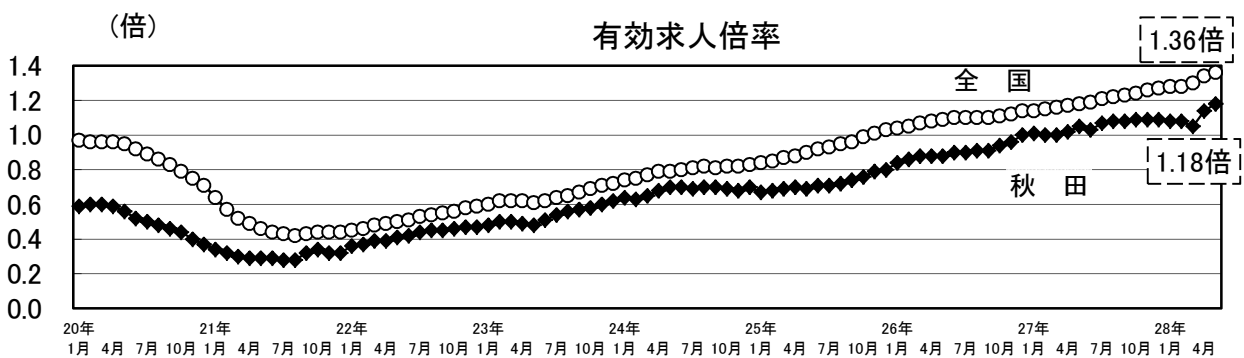
4件（前年同月5件）、負債総額は2.1億円（前年同月6.1億円）

- 負債総額別：1億円以上0件
- 業種別：製造業1件、建設業2件、その他1件
- 原因別：既往の刃寄せ2件、販売不振2件



■ 雇用情勢（5月）

- 有効求人倍率（季節調整値）は1.18倍となり、前月を0.04ポイント上回った。
- 新規求人数は前年同月比9.3%増加（2か月連続で増加）し、新規求職者数は同比5.5%減少（34か月連続で減少）した。



ハローワーク別有効求人倍率（原数値・全数）平成28年5月

能代	大館	鷹巣	鹿角	県北計	秋田	男鹿	本荘
1.12	1.22	1.03	1.28	1.16	1.05	0.90	0.84
中央計	大曲	角館	横手	湯沢	県南計	総計	
1.00	0.88	1.04	1.11	0.87	0.97	1.03	